

議事録

作成日:平成31年2月21日

会議名	平成30年度 第3回学校運営協議会		
開催日時	平成31年2月20日	作成者	岸本
出席者 (敬称略)	(委員) 千里金蘭大学入学センター顧問 清水 信行 高槻市立第二中学校長 北山 茂治 芥川高等学校PTA会長 水野 忠夫 (株)ベネッセコーポレーション 高校事業部 大阪府担当 松原 良典 (事務局) 校長 河方 智基 教頭 坂口 光芳 事務長 渡邊 総一郎 首席 大西 隆司 首席・人権教育推進委員長 藤原 啓明 進路指導主事 辻 麻衣子 事務局 岸本 昇馬		

議事

1、校長挨拶(河方校長)

2、資料の確認

3、協議

(1)学校の様子(芥川新聞) 藤原首席

- No261 2年生台湾修学旅行について
- No262 和太鼓部定期演奏会について オープンスクールについて
- No263 1年職業別ガイダンス 防災学習講演会について

(2)平成30年度学校経営計画に基づく自己評価 河方校長

○学力の向上

- ・教科指導に対する肯定率および授業アンケートにおける授業満足度は昨年度と同じ水準だが、目標は達成できていない

○希望進路の実現

- ・進路指導への満足度は昨年度より良かったが、目標を達成することができなかった
- ・進路の情報提供への満足度では、生徒の満足度は高いが、保護者の満足度は昨年度より減少している
- ⇒保護者への進路情報の周知方法の改善が必要

○使える英語力と国際感覚の育成

- ・英検受験者が前年度より増加した
- ・台湾、修学旅行での現地高校生との交流や、ミラニ高校生との交流プログラムに対する生徒の満足度は非常に高かった。
- ・グローバルコースでの授業満足度は目標値を達成することができた
- ・グローバル専門コース生徒と希望者対象にGTECの校内実施。昨年度よりスコアの上昇が見られた。

○体験学習の充実、学校行事・部活動の振興

- ・和太鼓部がポーランドの国際大会に出場し特別賞受賞、また来年度の全国大会出場決定

○規範意識の醸成

- ・遅刻者総数が昨年度より大幅に減少している。(特に2年生)

○教員力の向上

- ・次世代教員研修会を行い、「芥川高校生をどのように育てるか」をテーマとし、現状分析、どのように育てたいか、どのような授業が必要かを議論し、全体の教員研修で発表、意見交換を実施
- ・大阪府教育センターより、講師を招き新学習指導要領に向けた今後の授業のあり方をテーマにした教員研修を実施

○情報発信力の向上

- ・学校説明会、オープンスクールの参加者数は昨年度より増加。
- ・家庭への情報提供への保護者の肯定率は昨年度を上回った。

(委員からの意見、質問等)

- ・遅刻者数で1年生が多いのはなぜか。
- ・次世代教員研修のまとめの中で、受け身な生徒が比較的多いことが挙げられていた。他校での学年集会や部活動表彰時の工夫がおもしろいと思った。

(3)進路指導アンケートまとめ 辻進路指導主事

- ・進路相談については多くの先生がよく相談に乗ってくれたと回答している
- ・入試結果については、大学の定員厳格化により昨年度よりさらに厳しくなっている
- ・昨年度の入試が厳しかったという情報を伝えたにもかかわらず、受験勉強や対策を始める準備が遅かった生徒が多い。
- ・受験校の数については、4校以上受験する生徒が多く、受験回数の平均は5.9回であった
- ・公募制推薦とセンター対策の両立が困難と言う生徒が多い。

(委員からの意見、質問等)

- ・センター試験は国公立を目指すためだけでなく、私大のセンター利用入試に向けて力を入れる受験生が増えてきている
- ・ポートフォリオの活用方法を考えていかなければならない。(他校における学年集会や式での表彰の工夫の紹介があった。)
- ・2年生の3学期の時期にそれぞれの生徒に志望理由を書かせるなど志望校を検討させる、また公募制推薦、AO入試、一般入試など、どの入試方法で受験するのか考えさせることが必要である。

(委員より意見、質問等)

- ・現段階での進路未決定者にはどのように指導していくのか。
- ⇒後期入試へのサポート。受験校検討、来年度再受験を目指すか相談にのる。

(4)平成30年度生徒による授業アンケートについて 坂口教頭

- ・全体的に平均値は高い
- ・第1回と第2回を比較すると、第2回で平均値に改善がみられる教科が昨年度より少なかった。
- ・授業アンケート結果を参考に引き続き、授業改善に努めていく。

(5)平成30年度学校教育自己診断結果について 藤原首席

- ・保護者の回収率が一昨年度並に回復した。
- ・生徒設問3「芥川高校の授業に満足している」に対して、ここ数年満足度が微減している生徒の授業理解度の低下や教員の授業力に課題がないか分析したい。
- ・保護者設問「芥川高校の生徒指導方針に共感できる」について、80%近くの理解を得ている。
- ・生徒設問「芥川高校は進路指導が充実しているについて、80%を超える水準となっている
- ・生徒設問「体育祭や文化祭、校外学習などの行事は楽しい」について年々満足度は低下している。行事における様々なルールを不満に思っている生徒がいる。
- ・誤解、説明不足に基づく自由記述での不満・要望が複数あるので、生徒・保護者に対して説明する。
- ・生徒には不満をぶつけるだけでなく、学校をよくするために一緒に考えたいので意見を聞かせてほしいと訴える。

(6)平成31年度学校経営計画 河方校長

○中期的目標についての変更点

- ・学力の向上

⇒教員からの観点よりも、生徒にとってより「魅力的な授業」「わかる授業」となるように文言を修正した。

- ・希望進路の実現

⇒新しい大学入試制度に対応するため、各種英語資格取得の奨励や主体性を持って多様な人と協働して学ぶ姿勢を身に付けさせるとともに、活動記録を適切に残すという文を追加

・学校行事、部活動の振興

⇒部活動の活性化と効率的な運用により学習との両立を図るという文を追加

(7)部活動運営方針について 河方校長

- ・運動部はスポーツ庁、文化部は文化庁が策定したスポーツ庁および文化庁のガイドラインにしたがって来年度に向けて各校が部活動運営方針を決定する。
- ・各部活動の顧問から活動の現状と方針決定に向けてのヒアリングを行った。

(8)保護者からの意見書について 坂口教頭

今回も提出はなかった。

(9)その他

・学校施設について災害の被害修復は進んでいるか。

⇒日常の活動に問題はないがまだ完了していないところがある。

⇒来年度からの入試は今年より難易度が高くなる予想なので、なんとか今年に合格して欲しい
しかし、浪人も視野に入れているため、3月末に決起集会を予定している

(10)校長謝辞 河方校長

(11)連絡

- ・次年度委員の委嘱について⇒改めて校長より連絡
- ・議事録公開について